

アクティブ・ラーニングの 授業デザイン について考える

アクティブ・ラーニング型の授業を行う上で大切なことは、授業方法よりも授業目標・到達目標です。そこで、ID（インストラクショナルデザイン）という観点から授業デザインを考えてみます。IDとは、教育活動の効果と効率と魅力を高めるための手法を集大成したモデルや研究分野、またそれらを活用して学習支援環境を実現するプロセスのことを指します。日本では、2000年頃からe-learningの普及とともに注目を集めるようになりました。いくつかのID理論や、それらを用いたアクティブ・ラーニングの授業デザインについて学びを深めていくFD講演会を開催します。

講師

村上 正行 先生

(大阪大学全学教育推進機構
教育学習支援部 教授)

専門は教育工学、大学教育学。
主に、高等教育における教育データ分析、
ICTを活用した教育、FDに関する研究に従事。

日時

2019年

7月17日 水

13:30~15:00

(受付: 13:10~)

場所

本学
本部棟3階
第一会議室

対象

本学教職員
学生
一般

申込不要
入場無料